

恐れずに乳がん検診を



早期発見治療で90%
近くが治ります

やり方を知れば
自分でもみつけられます

不安や悩みを話せる
リボンの会

組合員さんの声

自己チェックで
助かったワ。

姉が乳がんになり、近所の人に「姉妹がなったら気を付けて!」と教えられました。定期的な自己チェックで、半年後、私にも小さいのが見つかりました。早期だったため部分切除でよく、9年経った今でも元気に過ごしています。
(守山東支部 村松 和子)

検診は大切

名南病院でマンモ受けてから、今年は、北病院のエコー検診に予約しました。近くで気楽に受けられるのはイイですね。しかも、ドクターが女性でよかったです。これからも、定期的な検診をしていきたいです。
(わかばの里 富永 悦子)

リボンの会 茶話会 あってよかった

寒さが一段と身に染み冷たい日が続いています。傷が痛むのはそのせいかな?手術して3年1ヶ月弱になる。暖かくなればそれもいくらか緩むのだろうか?私がリボンの会に通うようになって同じ病気の方々とお話をしていると、ずっと昔から知っていたようななぜかホットする様な気持ちになります。
(リボンの会 安藤 かずみ)

自己チェックと乳がん検診で いのちが守れます。



名南病院外科医長
鈴木 るり子医師

30~60歳代の日本人女性がかかるがんのトップは乳がんです。生涯のうちに乳がんになる女性は、50年前は50人に1人だったのに対し、現在は14人に1人です。乳がんにかかる率は1位ですが、死亡率は5位と死亡する率は低くなっています。つまり乳がんは定期的に自己チェックを実施し、乳がん検診を受け、早期発見によって適切な治療を受ければ、命に影響を及ぼさずに済む

病気なのです。昔と違い、今は全てのがんにおいても、早期発見すれば根治し、がんで死ぬことのない時代になっている中、乳がんはその最先端で、検診も治療法も統計的に効果があると裏づけされているものです。乳がんは比較的予後のいいがんです。見つかる事より、手遅れとなる事が怖い事です。みなさん、恐れずに乳がん検診をうけてください。



新北病院建設中!



建設地の現状の様子(1月21日現在)